

にいじまむら

議会 だより

12月定例会号



新しい波

表紙は語る

2020年東京オリンピックで初種目となったスケートボードで、多くの日本人選手が活躍したのは記憶に新しいところです。羽伏浦にも「ランプ」と呼ばれる、楕円を半分に切ったようなセクションが住民たちの手で作られ、小中高生から大人までスケートボードを楽しんでいます。寒空の下でスケボーを楽しむ子供たちからは、「羽伏のランプがあったからスケボーを始めて、観光客とも一緒に楽しめるので島内外に友だちができた」「滑る楽しみだけでなく撮影の楽しさも知り、SNSで発信して世界中から反応をもらえる」など、ランプを通じて夢が広がる声が聞かれました。(関連記事12ページ)

(文・写真:小久保利佳)

- 2 一般質問
- 11 特集【行政と議会のICT推進】
- 12 スピーカーズコーナー
- 12 編集後記